

路線バス新車両の導入について

県内初、路線バスにカラーLEDによるデジタル行先表示器を搭載

北陸鉄道グループは8月8日(木)、路線バス新車両を12両導入しました。今回導入した新車両のうち大型バス8両には、県内では初めてカラーLEDによるデジタル行先表示器を搭載。系統番号のデジタル表示を路線図表示と同色とすることで、より分かりやすい行先表示が可能となりました。このたび導入した新車両は8月16日(金)から運行予定です。

北陸鉄道グループは今後も安全で快適な車両導入を進めていきます。

記

1 導入会社

北陸鉄道株式会社	大型ノンステップバス	4両(乗車定員77~86名)
北鉄金沢バス株式会社	大型ノンステップバス	4両(乗車定員86名)
北鉄白山バス株式会社	中型ノンステップバス	2両(乗車定員57名)
北鉄能登バス株式会社	中型ノンステップバス	1両(乗車定員57名)
北鉄加賀バス株式会社	中型ノンステップバス	1両(乗車定員59名)

※中型バス4両はカラーLEDではありません(白色LED)。

2 デジタル行先表示器のカラー化

当社は、かねてより系統ごとに系統番号と系統色を決めており、デジタル行先表示器のカラー化により、従来の系統番号に加え、系統色が路線図表示と合致することとなり、バス路線がより分かりやすくなりました。

なお、2018年頃まで使用されたフィルム式の行先表示器には、系統色を表示していません。

北陸鉄道グループでは、中期経営計画“わかりやすい案内”に基づき、今後の新車両にはフルカラーデジタル行先表示器の導入を進めていきます。



大型バスデジタル行先表示器



同一のカラー表示

バス路線図

3 その他

全車両に安全装備としてドライバー異常時対応システム(EDSS)を搭載しています。

以上